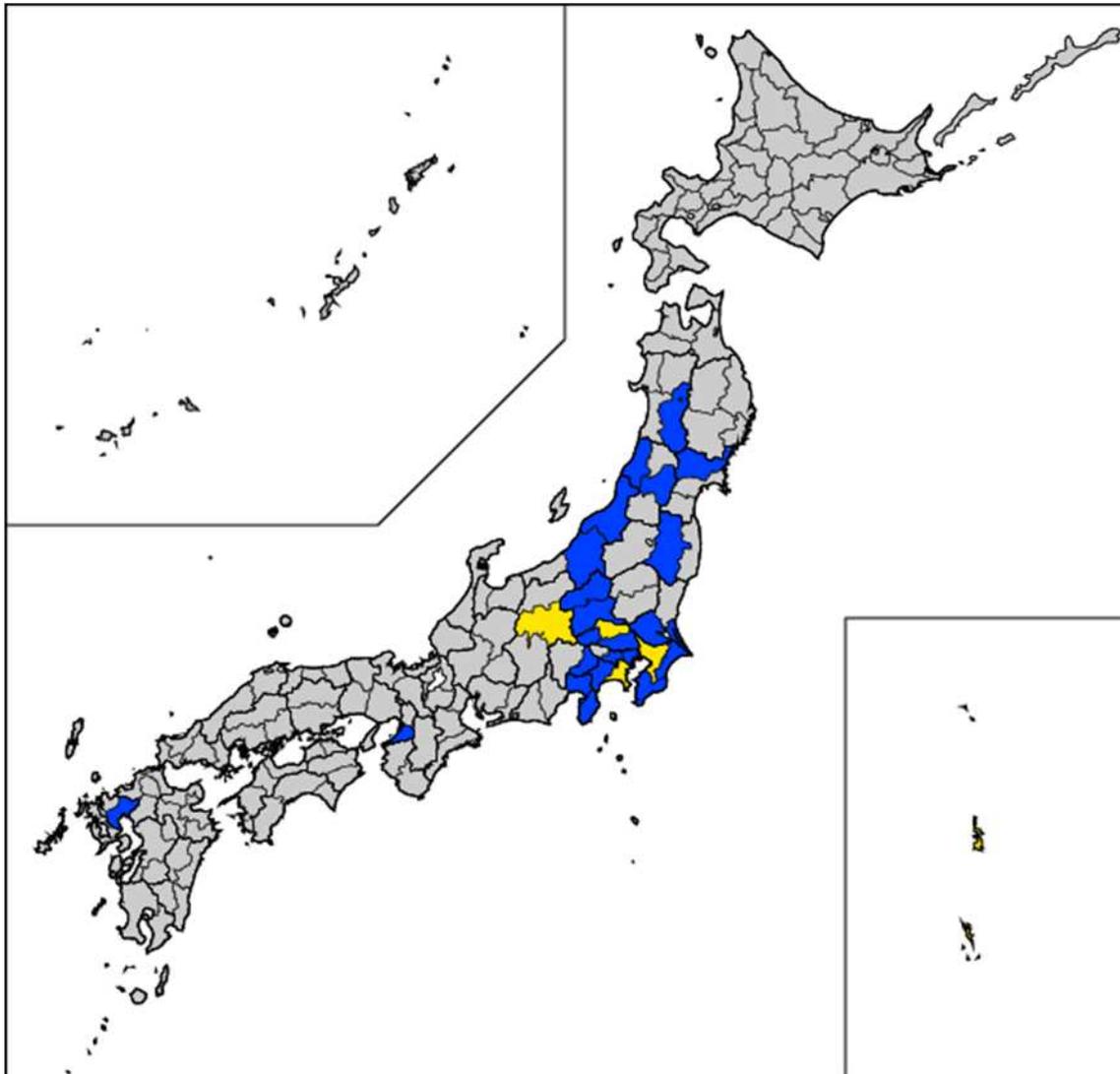


平成 27 年 5 月 30 日 小笠原諸島西方沖の地震
長周期地震動階級分布図

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

【長周期地震動階級 1 以上が観測された地域】

長周期地震動階級 2

埼玉県北部 千葉県北西部 八丈島 小笠原 神奈川県東部 長野県中部

長周期地震動階級 1

宮城県北部 秋田県内陸南部 山形県庄内 山形県村山 福島県中通り
茨城県南部 群馬県北部 群馬県南部 埼玉県南部 埼玉県秩父 千葉県北東部
千葉県南部 東京都 2 3 区 東京都多摩東部 神津島 新島 神奈川県西部
新潟県中越 新潟県下越 山梨県東部・富士五湖 静岡県伊豆 静岡県東部
大阪府南部 佐賀県南部

長周期地震動階級関連解説表

(高層ビルにおける人の体感・行動、室内の状況等との関連)

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

【平成 27 年 5 月 30 日に発表の長周期地震動に関する観測情報（試行）からの訂正箇所】

長周期地震動階級 1 から長周期地震動階級 2 となる地域（2 地域）
埼玉県北部、千葉県北西部

新たに長周期地震動階級 1 となる地域（10 地域）

秋田県内陸南部、山形県庄内、山形県村山、福島県中通り、群馬県北部、埼玉県南部、東京都多摩東部、新潟県中越、山梨県東部・富士五湖、佐賀県南部

5 月 30 日の観測情報(試行)発表時点で未収集だったデータを追加して再解析しました。